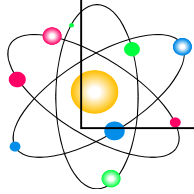




住信 年金情報

# PENSION NEWS

(平成21年1月15日)



年金信託部

## 「退職給付会計の見直しに関する論点整理」の公表

本日、企業会計基準委員会が開催され、「退職給付会計の見直しに関する論点整理」を公表することが決議されました。

現在、我が国の会計基準と国際会計基準の間で取扱いが不一致となっている事項をなるべく解消しようとする動き（会計基準のコンバージェンス(収斂)）の中で、退職給付に係る会計基準について見直しの検討が行われております。

本論点整理は、退職給付に係る会計基準の見直しを検討するにあたり、これまでの我が国の議論の経緯や国際的な議論の動向を踏まえた論点を幅広く示し、関係者からのコメントを広く求め、問題点・課題等を整理することを目的としています。いずれの論点も重要なテーマであり、今後の議論について注視していく必要があると思われま

### 1. 主な論点

- ・ 退職給付債務・勤務費用の測定方法（支給倍率基準と期間定額基準 等）
- ・ 年金資産の定義（退職給付信託の取扱いについて 等）
- ・ 貸借対照表上の即時認識
- ・ 回廊アプローチと重要性基準

等

論点整理の本文は、およそ1週間後に企業会計基準委員会のWEBサイトにて公表される見込みです。  
(<http://www.asb.or.jp/>)

### 2. コメント期限

平成21年4月6日

### 3. 背景

会計基準のコンバージェンスに関して、企業会計基準委員会では短期プロジェクトを2008年に終えて、現在は中長期プロジェクト（期限2011年6月）に取り組んでいます。

退職給付に係る会計基準に関しては、短期プロジェクトとして割引率の設定方法について昨年7月に改正が行われています。引き続き中長期プロジェクトの議論がなされており、今回公表される論点整理は、その最初のステップとして行われるものです。論点整理では、国際会計基準理事会（IASB）で議論されている国際会計基準（IAS19）の改正に関する論点も含まれており、退職給付会計に関する幅広い論点が示されています。

以上

